

別紙－1 快適トイレの標準仕様

建設現場の快適トイレ	快適トイレ	<p>1. 快適トイレに求める標準仕様</p> <p>①洋式便座 ②水洗機能（簡易水洗、し尿処理装置付きを含む） ③臭い逆流防止機能（フラッパー機能） （必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策を取ること） ④容易に開かない施錠機能（二重ロック等） （二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの） ⑤照明設備（電源がなくても良いもの） ⑥衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能（耐荷重5kg以上）</p> <p>①洋式便座 ②簡易水洗等 ③臭い逆流防止機能（フラッパー機能など） ④容易に開かない施錠付き（二重ロック等）</p>  <p>⑤照明設備（電源がなくても良いもの） ⑥衣類掛け等のフック付きまたは荷物置き場の設備付き（耐荷重5kg以上）</p> 
	付属品	<p>※1及び2の項目は、必ず備えるものとする</p> <p>2. 快適トイレとして活用するために備える付属品</p> <p>⑦現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 ⑧入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等） ⑨サニタリーボックス（女性専用トイレに限る） ⑩鏡付きの洗面台 ⑪便座除菌シート等の衛生用品</p> <p>⑦男女別の明確な表示 ⑧入口の目隠し版の設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等）</p>  <p>⑨サニタリーボックス（女性専用トイレに限る） ⑩鏡付き洗面台 ⑪便座除菌シート等の衛生用品</p> 
推奨する仕様、付属品	<p>※3の項目は、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。</p> <p>3. 推奨する仕様、付属品</p> <p>⑫室内寸法900×900mm以上（半畳程度以上） ⑬擬音装置 ⑭着替え台（フィッティングボード等） ⑮フラッパー機能の多重化 ⑯窓など室内温度の調整が可能な設備 ⑰小物置き場等（トイレトペーパー予備置き場）</p>	

別紙ー2 快適トイレのタイプ

	<p>① ハウス型</p>	<p>室内空間が比較的広く、洗面台等が室内に完備されたタイプ</p>	 
<p>タイプ</p>	<p>② 車載型</p>	<p>軽トラック等に積載した状態で使用可能で、現道工事等に適したタイプ。</p>	  
	<p>③ ボックス型（ユニット型）</p>	<p>簡易トイレとして一般的なタイプで、敷地に余裕がない現場等に適したタイプ。</p>	 

別紙－3 積算方法

快適トイレの費用は、45,000円／基・月を上限に「積算上の差額」※1を計上するものとし、男女別で1基ずつ設置した場合は、計2基まで共通仮設費（営繕費）に積上げて費用計上する（90,000円／2基・月が上限）。

※1：「積算上の差額」とは、実際にかかった費用から、共通仮設費（率分）に含まれている10,000円／基・月（従来品）を除いた額とする。

また、上限を超える費用については、現場環境改善費（率分）の対象とする。

※2：監督職員は、実施要領第2条第1項（1）、（2）の内容が確認できる資料及び支出実態のわかる資料を受注者に求め、受発注者協議により設計変更の対象とする。

<具体的な計上方法例>

- ①実際に導入した快適トイレ費用60,000円／基・月の場合（積算上の差額50,000円）
積算で計上する費用：45,000円／基・月
- ②実際に導入した快適トイレ費用40,000円／基・月の場合（積算上の差額30,000円）
積算で計上する費用：30,000円／基・月
- ③実際に導入した快適トイレ費用
男女別一体型ハウス100,000円／2基・月の場合（積算上の差額80,000円）
積算で計上する費用：80,000円／2基・月
- ④実際に導入した快適トイレ費用
男女別一体型ハウス200,000円／2基・月の場合（積算上の差額180,000円）
積算で計上する費用：90,000円／2基・月